

# 戦争によって 失われた農村の力 食糧供給も減少

**戦** 時中は全国津々浦々から兵士が戦地に赴きました。もちろん矢吹町も例外ではなく、兵士は農村出身者が大半を占めていたため農業生産も衰退し、食糧供給が減少し始めました。

供出米の強制措置が決定されたのは昭和十五年五月十日のこと。戦時下では食糧の確保が至上命令であるとして、農家は供出米を強制的に割り当てられました。徐々に戦火が拡大、戦時体制一色に塗り変えられていくなかで、物資は軍需優先とされ、極端な窮乏生活を強いられることになりました。生活必需品も配給制



国防婦人会の射撃訓練

## The History of Yabuki Town



戦時中、矢吹町に疎開してきた子供たち



学校養蚕（矢吹小学校）



軍事徴用馬訓練検閲

- ▼昭和十五年
- ◆二月◇矢吹原国営開墾予算案が衆議院可決、3月15日貴族院可決通過する◆四月◇矢吹ヶ原開墾調査事務所開設◆七月◇贅沢禁止令出る
- ▼昭和十六年
- ◆二月◇NHK郡山・福島両放送局開局◆四月◇小学校を国民学校と改称◆七月◇弥栄に乳牛30頭入れる◆十一月◇矢吹を中心に「猟区設置運動」に反対する「檄」が配布された◆十二月◇日・米開戦◇農林省白河・矢吹開拓建設事務所開所
- ▼昭和十八年
- ◆一月◇奇祭三城目水あび祭り（水祝）
- ▼昭和十九年
- ◆八月◇大都市学童疎開◆十一月◇米軍機B29が東京初空襲◆矢吹耕地整理組合連合会発足。白河商業が白河農学校と名称変更
- ▼昭和二十年
- ◆五月◇矢吹飛行場空襲受ける◆十一月◇「緊急開拓実施要領」が決定され、矢吹が原開拓始まる◆矢吹飛行場跡・北善郷内に開拓者入植する
- ▼昭和二十一年
- ◆四月◇県立矢吹公共職業補導所開所◆十一月◇日本国新憲法公布◆羽鳥ダム工事始まる
- ▼昭和二十二年
- ◆二月◇矢吹原耕地整理組合連合会の事務所新築落成◆四月◇戦後初の公選町長選◆矢吹・中畑・三神の各中学校創立◆日本酪農講習所開所◆八月◇天皇陛下東北巡幸の際、矢吹に立寄られ修練農場・弥栄開墾地を視察された◆湯本村羽鳥地区より矢吹が原に移転入植する（昭和22年〜32年までに20戸入植）
- ▼昭和二十三年
- ◆一月◇警防団解散し各町村に消防団設置◆三月◇地区警察・市町村警察設置に伴い白河地方警察署矢吹警部補派出所並びに自治警察矢吹町警察署が併置される◆中畑村農協創立◆四月◇矢吹町農協創立◆三神村中央農

昭和十五年 ↓ 昭和二十九年